



国際交流活動 in まつうら

Matsuura Students invite you to meet Mackay Citizens

皆さんの応募をお待ちしています！



●松高生企画の交流会 参加者募集！

12月6日から9日にかけて、姉妹都市マッカイ市から親善訪問団 25 人が本市を訪問します。これに合わせて、松高生が実行委員会を結成し、マッカイ市民と松浦市民との交流を計画してくれました！

実行委員会のメンバーは 12 人。昨年度の市と松浦高校との連携事業「まつナビ」の中で計画し、今年度実行委員会を立ち上げて実現に向けて準備を進めてきました。

目的は、日本とオーストラリアの文化を相互に理解し、両市民が交流できること。現在、参加者を募集中です！松高生のアイデアが詰まった交流会に参加しませんか？

- 【日 時】 12月8日（日） 9：00～11：00
- 【場 所】 松浦高等学校体育館 2階
- 【対 象】 松浦市民 ※参加費無料
- 【内 容】 食文化体験（両国のお菓子等を試食！）
スポーツ体験（なぎなた、クリケット）
日本遊び体験（けん玉、折り紙、お手玉等）
※体験の内容は都合により変更になる場合があります。



【申込方法】 電話またはメールで松浦市国際親善協会事務局に申し込み下さい。
メールの場合は、お名前、年齢（学年）、連絡先（住所および電話番号）を入力してください。

【申込締切】 11月15日（金）

【問合せ先】 松浦市国際親善協会事務局（松浦市教育委員会生涯学習課内） ☎内線 341
メール（kokusai@city.matsuura.lg.jp）

ひろしま旅文化祭2019で松浦をPR！！

天神書簡—福岡事務所便り—



10月5日・6日の2日間、広島市のジ・アウトレット広島で開催されたひろしま旅文化祭2019に「ながさきの旅」ブースとして出展しました。九州、中国地方の自治体や、旅行会社がPRブースを設置する中で、長崎県観光連盟の支援を受けて、福岡事務所を設置している4自治体（松浦・壱岐・対馬・五島）の合同ブースを出展。来場者に旅行プランを提案したり、パンフレットを配布する等して、それぞれの魅力を紹介しました。

また、特設ステージのPRタイムでは「アジフライの聖地松浦」PR法被を着用して、松浦の食や景観、歴史などの魅力を紹介し、多くの方々に松浦市を知っていただく機会になりました。

イベント前日の10月4日には、広島市内の旅行会社を回り、中国地方における旅行者の動向や長崎に関する商品造成について情報を収集し、松浦への旅行プラン造成についても提案を行いました。

広島での松浦市の認知度はまだまだでしたが、松浦の魅力を紹介していく中で、イベント来場者や旅行会社等多くの方々に興味を持っていただく3日間となりました。



▲「ながさきの旅」ブースの様子



▲特設ステージで松浦をPR

お問合せ

松浦市福岡事務所
☎ 092-406-2180
✉ matsuura.f@city.matsuura.lg.jp

教育委員異動のお知らせ

☎ 教育総務課総務係 ☎ 内線353

●教育委員会の構成

	氏名	任期
教育長	今西 誠司	平成31年4月 2日~令和4年4月 1日
委員 <small>(教育長職務代理者)</small>	平原 章宏	平成29年2月23日~令和3年2月22日
委員	氏山 智美	平成30年2月23日~令和4年2月22日
委員	金井田秀規	平成31年2月23日~令和5年2月22日
委員	前田 弘子	令和元年10月 1日~令和2年2月22日

●新任委員



前田弘子 委員

●退任委員(9月30日付け退任)



島田茂明 前委員

宝くじの助成金を活用！

☎ 防災課 ☎ 内線 326

宝くじの社会貢献広報事業として、(一財)自治総合センターが行っているコミュニティ助成事業を活用し、下記のとおり防災資機材を整備しました。

◆新しい資機材で活動も充実！

調川町江口自治会(2区・3区)自主防災組織は、防災資機材を整備しました。地域の防災に対する活動を続け、毎月の備品等の点検と年2回の防災訓練などを行っています。



安全・安心なまちづくりを支援

特定非営利活動法人(NPO法人)「元気種っと」(中垣一史理事長)と市による「防災カメラシステム支援自動販売機および防災カメラの設置並びに管理に関する協定調印式」が9月13日、市役所で行われました。

元気種っとは、公共施設などに設置した飲料自動販売機の売り上げを活用し防犯カメラを設置する活動をしており、福岡県や佐賀県の6自治体などと協定を結んでいます。同法人との防災カメラに関する協定調印は松浦市が初めてで、この協定締結により、これまで課題となっていた志佐川の増水による危険水位を市役所で確認することができるようになり、迅速な防災対策への効果が期待されます。



あなたも認知症サポーターになりませんか ～認知症に優しい地域づくりのために～

☎ 長寿介護課長寿支援係 内線178

地域包括支援センターが8月27日、今福公民館で「認知症ってなあに?認知症サポーター養成講座」を開催しました。

今回初めて小学生を対象に開催したもので、当日は児童約16人が参加。講座では紙芝居やクイズ、寸劇などを通して認知症の人と接する時の心構えなどについて学び、講座の最後には、受講者の証であるオレンジリングを受け取りました。

今回の受講者を含め松浦市の認知症サポーターは1,660人となりました。住み慣れた地域でいつまでも暮らしていくために、子どもからお年寄りまでお互いに支え合う地域づくりを目指します。

講座受講を希望される場合は、問合せ先までお気軽にご連絡ください。

